

大会等開催に向けたガイドライン(新型コロナウイルス感染対策) **R5.4改正**

広島県小学生バレーボール連盟

■基本的な対応	
①	三つの密(密閉・密集・密接)のいずれかに該当する状況が発生しないようにする。
②	マスクの着用は個人の判断に委ねる。
③	発熱や風邪症状等身体の不調が認められる場合は参加させない。
■参加募集時の対応	
①	発熱等の風症状がある場合や濃厚接触者となった場合は、参加できない旨を周知する。
⑤	大会受付時に参加者全員(引率・応援も含む)の健康チェックシート(※)の提出を求める。 ※広島県小学生バレーボール連盟作成の健康チェックシートを活用する。
⑥	大会当日、参加チームは、消毒用の消毒剤を持参し、試合後や退館前にチームが使用した備品や施設の消毒をするよう周知する。
⑦	各チームが出したゴミは、持ち帰ることを周知する。
⑧	大会関係者が、大会終了後、 3日以内 に感染症を発症した場合は、大会責任者への報告を速やかに行うことを義務づける旨を周知する。
⑨	大会関係者に、感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷することがないようにお願いしておく。
⑩	ガイドラインに示した内容に協力を得られないチームや参加者は、参加を取り消したり、大会本部の要請に従わないチームは、途中退場を求めたりする場合があることを周知しておく。
■大会等当日の対応	
①	観客席では隣との間隔をとって座り、席の移動は控える。また、 飲食は、指定の場所で行い、会話は控える。
②	受付場所や会場入り口等に手指消毒用のアルコールを設置する。
③	受付時に、参加者全員の健康チェックシートを受け取り、37.5℃を超える発熱や風症状等の症状がないか確認する。
④	チームは、消毒液や除菌シート等を持参し、 セット間、試合後は、ベンチを消毒する。 また、退館時は、チームが使用した観覧席を消毒する。
⑤	審判チームは、消毒液や除菌シート等を持参し、終了後は、記録席の備品、ラインフラッグ、得点板など、使用した備品や場所を消毒をする。
⑥	主・副審は、ホイッスルの上に不織布マスクを着用して吹笛する。専用のマスクカバーがある場合は使用してもよい。
⑦	試合前後の握手は、エンドラインでの一礼で代替する。
⑧	タオル・ボトル・アイシングバック等の共用を禁止する。